

めあてを高く
できるまで やれ

岡崎市立梅園小学校
校長室だより 4
令和 2年 6月19日
こん どう ふみ ひこ
近 藤 文 彦



…新型コロナウイルス感染の中でも… いつもと同じ自然を生かす…

臨時休業期間中も、いつもと同じように校内の自然は動いていました。いくつかの植物に花が咲き、実をつけています。フラワーロード前の蒲郡ミカンの花もたくさん咲いていました。ミカンの花はいい香りがします。来年はミカンの花の香りを感じてほしいです。現在はミカンの花から果実に成長しています。また、学年栽培園の中に新しい環境が作られています。それは水田です。5年生が授業に活用していきます。

○5年児童による校内の水田での「田植え」

梅園学区は、岡崎市内の中心部の高台にあり、学校周辺は住宅地・商業地域となっており、水田はありません。学区の箱柳町には水田が残り、稲作を行っている方もみえます。このような学区の状況から、水田や稲作に触れる機会は、一部の児童を除いて、ほとんどありません。本校には、以前は校地内に「学校田」があったようですが、校舎・体育館の改築・新築等でなくなったと考えられます。

5年の教師4名が、植物の栽培活動の一つとして、稲作に取り組み、社会科等の学習に役立てたいと考え、栽培園に手作りの「ミニ水田」を作りました。4・5月の臨時休業期間に、学年の畑であった場所の地面を60センチメートルほど掘り、ビニールシートを敷いてその上に土を埋め戻しました。栽培土や溝にたまっている泥を混ぜて田土に近いものにしました。新型コロナウイルス感染防止を考え、少数の希望者のみで6月3～5日に分けて「田植え」を行いました。

○6年児童による「梅の実の収穫」

現在、体育館周辺に12本、東校舎北側の「うめぞの梅園」に22本の梅の木があります。6月10日に体育館周辺で、梅の実を収穫しました。新型コロナウイルス感染防止を考え、今年度は1年生との交流活動による収穫をやめ、6年生だけで行いました。短時間でしたが、25キロの梅を収穫することができました。しかし、収穫時期が遅かったため、配付期日までに梅が傷み、配付することができませんでした。



【ビニールシートの上に土を埋め戻す】



【休み時間に行った田植え】



【梅の選別作業】

きちんと揃えると心もそろろう！

3月からの休業期間は、3か月近くに及びました。そのため、学校での生活習慣や授業規律などを忘れていないかと心配しています。私は、昨年度までの本校の様子がわからず、比較することができません。6月も半ばを過ぎ、本来ですと1学期の終わりです。しかし、全校児童での終日授業が始まり、3週間です。4月の終わり頃の状況とも考えられます。子供たちの順応性は高いと思いますが、私は、子供たちはよく頑張っているなあと感じています。そろそろ疲れも出てくる時期かと思えます。家庭での様子が心配な場合は、担任まで御相談ください。

教室の机や椅子がきちんと整頓されていたり、下駄箱の靴がきちんと揃っていたりすることはとても大切なことだと考えています。もちろん、揃っていることで、環境が整い、学習も行動も進むものと考えられます。私は、**揃えるために「一瞬立ち止まり、見て確認する」**ことがとても大切だと考えます。

落ち着いて自分の行動を確認することは、自分で考えて行動することに繋がるからです。心が落ち着くことにもなると思います。下駄箱にぼいっと靴を投げ入れ、教室に駆け込んでいては、授業に落ち着いて取り組むことなどできません。トイレのスリッパも全く同じだと思います。みんながきちんと揃えるようになると、学級や全校の子供たちの心も落ち着き、揃っていくと考えます。

現在、学校では「挨拶」がしっかりできるように指導しています。御家庭でも、爽やかな挨拶とともに、履物や衣服、用具などを落ち着いて揃えることを意識していただければ幸いです。自分で考えて行動したり学習したりするための土台です。



【きちんと揃っている様子】

学年ペア交流始まる

4月には例年、新入生歓迎「こいのぼり集会」が行われていましたが、臨時休業期間のため、できませんでした。時期が遅くなりましたが、6月17日に6年生がペアの1年生にメッセージ付きのカブトを作り、手渡しました。また、梅園小学校の紹介クイズでは、1年生が元気に手を挙げていました。ペアの児童と写真を撮影したり、お話をしたりすることができました。密を避けるために、男女別に訪問するなどの配慮がありました。5年生もペア交流が始まりました。どの学年も和やかに交流を行う子供たちの姿がありました。新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、子供たちの心を耕す活動は大切に組み込んでいきたいと考えています。



【6年生と1年生の学年ペア交流】